

	r_0 , (Å)	$b_0 = \left(\frac{2}{3} \pi N r_0^3 \right)$, (cc/mol)	ε/k , (°K)
Ar—Ar	3.405	49.80	119.8
C ₂ H ₄ —C ₂ H ₄	4.523	116.7	199.2
Ar—C ₂ H ₄	3.964	78.56	154.4

結果を Fig. 3 に同単位に換算した (3) 式の実測値とあわせて示す。計算値と実測値間には最大約 7 cc/mol の差がみられ、計算値は常に実測値より大きい絶対値を与えてはいるが、両者は大体一致した曲線である。

(iv) 混合系のフガシチ：実測値を用いこの混合系のフガシチを前報²⁾同様の方法で計算して示した。まず純成分系についての結果を Fig. 4 にフガシチ係数 ϕ の対数対圧力線図として示す。またこの二成分系における各成分の活量係数 γ を Fig. 5 および Fig. 6 に同様線図として示す。 γ の精度はアルゴン成分、エチレン成分両者ともそれぞれ高濃度の所で 1% 程度、最低濃度の所で 7~8% 程度の誤差と推察される。

(昭和 37 年 12 月 28 日受理)